



fuji toryo

PS-850-1

## TECHNICAL DATA SHEET

## サンドラック PS-850

サンドラック PS-850 は、ノンワックス型ポリエステル樹脂をベースにし、天然木の深みある自然の味をそのままに引き出す優れた透明性と作業性を兼ね備えた、厚膜型ポリエステルサンディングシーラーです。

## 特 徴

- 1. 研 磨 性 研磨性良好で、容易に平滑で強固な下地が得られますので、作業能率が向上します。
- 1. 肉 持 透明性が高いにも拘らず立面で15g～30g/尺塗着し、消泡抜群、導管への流れ込みが良好。無溶剤で100%固形分のため肉持ちが良く、工程が短縮できます。
- 1. 透 明 性 優れた透明性を持ち、天然木の織り成す幾何学的とも思える木理を自然のままに引き出すので、高級塗装に最適です。
- 1. 密 着 性 下塗りにも、上塗りにも密着性良好、塗り重ねもできます。
- 1. 乾 燥 性 硬化性良好で、塗膜劣化、目ヤセの心配がありません。

## 種 類

サンドラック PS-850 3液性

## 一 般 性 能

- 粘 度  $20 \pm 0.3 \text{ Pa} \cdot \text{s} / 25^\circ\text{C}$
- ゲルタイム 27分/25℃  
(パーメック N1%, ナフテン酸コバルト 6%液 0.8% スチレン 15%)
- 鉛筆硬度 H
- コールドチェック 10サイクル異常なし  
(1サイクル=-20℃×2時間+45℃×2時間)

## 使 用 方 法

- 配 合 比 3液性ポリエステル基本配合表 (サンドラック・ポリクリヤー用) 参照
- 塗 装 方 法 エアースプレー, エアレススプレー, DMS 塗装

## 注 意 事 項

1. 使用前には、塗料を十分攪拌し、均一にしてください。
2. 希釈には、必ずスチレンモノマー又はポリうすめ液を使用してください。
3. 配合は、重量比に換算して配合し、充分攪拌してください。
4. 使用するガン・容器類は1回ごとに洗浄してください。
5. 油・水・ホコリ等は避けて下さい。
6. 2液性のものは、保存安定性が低下しますので、冷暗所にて保存し、できるだけ早くご使用下さい。万一、缶口部に固化物が発生した場合は、濾過等で固化物を除去した後、ご使用下さい。
7. 3液性の場合、コバルトを混ぜてしっかり攪拌してからパーメックを入れる様にしてください。 **火災の恐れがあります。**



## TECHNICAL DATA SHEET

## ポリクリヤー・サンドラックの基本配合表

主剤 1 K g に対する添加 g 数 ( ) 内は%

	促 進 剤			硬 化 剤			備 考
	6%Co	ZC-500	ZC-200	パーメックN	ZP-200	ZP-500	
5℃ ～	10 (1.0)	50 (5.0)	20 (2.0)	25 (2.5)	50 (5.0)		
10℃ ～	9 (0.9)	45 (4.5)	18 (1.8)	20 (2.0)	40 (4.0)		
15℃ ～	8 (0.8)	40 (4.0)	16 (1.6)	15 (1.5)	30 (3.0)	75 (7.5)	
20℃ ～	7 (0.7)	35 (3.5)	14 (1.4)	10 (1.0)	20 (2.0)	50 (5.0)	
25℃ ～	6 (0.6)	30 (3.0)	12 (1.2)	8 (0.8)	16 (1.6)	40 (4.0)	
30℃ ～	5 (0.5)	25 (2.5)	10 (1.0)	7 (0.7)	14 (1.4)	35 (3.5)	
35℃ ～	4 (0.4)	20 (2.0)	8 (0.8)	6 (0.6)	12 (1.2)	30 (3.0)	
40℃ ～	3 (0.3)	15 (1.5)	6 (0.6)	6 (0.6)	12 (1.2)	30 (3.0)	

## \* 注意事項 \*

1. 硬化剤パーメックは、パーメックN 又は同等品  
6%Coは、6%ナフテン酸コバルト
2. 2槽タンクで使用する場合は、上記の2倍量を別々の容器に配合して、お使い下さい。
3. 希釈剤の量は、硬化剤・促進剤の添加量により適量に加減して下さい。